

## 1. 基礎情報

担当課 教育総務課

事業名	小学校エアコン整備事業				事業番号	1
事業区分	新規事業	マニフェスト番号	—	—	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
会計区分	一般会計	総合戦略番号			2	学校教育の充実
補助金等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( <input checked="" type="checkbox"/> 国 <input checked="" type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 無				2	学校教育
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他 ( )				取組No.	①12 学校設備を使いやすく、きれいで、明るく、快適なものにします。
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 名称 学校保健安全法(学校環境衛生基準)					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度(平成 年度) <input type="checkbox"/> 単年度繰返(平成 年度～継続) <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度平成 30 年度～平成 31 年度)					

## 2. 事業の概要

現状・課題	エアコン設置状況(平成29年4月1日現在) 普通教室 3.3% 特別教室 31.4% 夏場における教室の室温は、学校環境衛生基準で定められている教室等の温度である「17℃以上28℃以下」を大きく超えているのが現状であり、適正な教室環境に改善する必要がある。			
目的・意図 (期待できる効果)	(当該事業を実施することによって何をめざすのか) 災害級とも言われた今夏の猛暑を受け、熱中症対策として、学校の教室環境を改善し、子どもたちの健康を守り、適正な室温のもと教育を受けられる環境を維持するため、来年の夏までにエアコンを整備する。			
事業の概要 (全体計画)	事業の対象	市内小学生、教職員 (対象数: 約7,000人)		
	総事業費(平成30年度～平成31年度)	1,124,982千円 (ランニングコストは除く)		
	市内全小学校の普通教室及び特別教室にエアコンを整備する。			
	普通教室267室 特別教室 85室 ※エアコン減価償却耐用年数:13年			
	継続事業の場合は概要とともに変更点についても右欄に記入してください 変更 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
各年度の概要	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	設計委託 13,986千円 【今回補正】 工事監理委託 23,095千円 整備工事 1,083,880千円 計 1,106,975千円	平成30年度から繰越 ランニングコスト(9/12月) ガス空調(7/11) 4,604千円 電気空調(4/11) 5,443千円	県補助は事業完了の翌年度に交付 ランニングコスト ガス空調(7/11) 6,138千円 電気空調(4/11) 7,257千円	ランニングコスト ガス空調(7/11) 6,138千円 電気空調(4/11) 7,257千円
事業費(千円)A	1,120,961	10,047	13,395	13,395
国・県支出金	180,646		26,011	
起債	361,200			
その他特財	29,589			
一般財源	549,526	10,047	△ 12,616	13,395
職員従事者数(人・年)B	0.6	0.2		
人件費C=B×6,700千円	4,020	1,340	0	0
概算コスト A+C	1,124,981	11,387	13,395	13,395

## 3. 事業実施に当たっての必要性・有効性等

(事業実施に当たって、具体的にどの程度市民ニーズがあるか、事業実施による効果や成果はどの程度か、事業費や職員従事者数等を踏まえて事業効率を図っているか、事業の先進性や独自性などシティブロモーションに寄与するかなど、また、過去に議会で一般質問や要望があった場合など特筆すべき内容を記入してください。)

近年の温暖化の影響から、教室にエアコンを設置する要望は非常に強い。特に今夏の猛暑を受け、市民・保護者からエアコン設置を求める要望が多数寄せられている。

## 4. その他特記事項

学校環境衛生基準では、教室の室温は「17℃以上28℃以下」が望ましいとされているが、夏場の最高気温が35℃を超えている現状では、エアコン稼働による室温コントロールが、適正な教育環境維持に必要であり、国・県も緊急対応であることに鑑み、臨時特例的な補助制度を創設し、適正な教室環境維持を目指しているところである。

事業名	小学校エアコン整備事業	担当課	教育総務課
-----	-------------	-----	-------

### 1. 事業コスト(フルコスト)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度
事業費(千円) A	1,120,961	10,047	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395
イニシャルコスト	1,120,961	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(初期投資)										
用地関係費										
建設工事費	1,083,880									
設計監理費	13,986									
システム開発費										
(監理費)	23,095									
ランニングコスト	0	10,047	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395
(施設等運営費)										
用地借上費										
修繕費										
維持管理費										
光熱水費		10,047	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395
システム保守費										
公債費利子										
( )										
財源内訳(千円) A	1,120,961	10,047	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395
国・県支出金	180,646		26,011							
起債	361,200									
その他特財	29,589									
一般財源	549,526	10,047	-12,616	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395
職員(人/年) B1	0.6	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時職員(人/年) B2										
人件費 B B1×6700千円+B2×1500千円	4,020	1,340	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給与引当金 C B1×6700千円×5%	201	67	0	0	0	0	0	0	0	0
フルコスト A+B+C	1,125,182	11,454	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395	13,395

### 2. 事業の効果(有効度指標)

事業の性質区分		<input checked="" type="checkbox"/> 量的施設事業	<input type="checkbox"/> 単一施設事業	<input type="checkbox"/> システム整備事業	
有効度指標名 (単位)		30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値	33年度目標値
		34年度目標値	35年度目標値	36年度目標値	37年度目標値
サービス成果	整備校数 (校)		11		
社会成果	( )				
住民満足度	( )				
効果の期待度 (A. 大きな効果が期待できる B. ある程度の効果が期待できる C. さほど効果は大きくない)					
指標の種類	評価	判断の理由・根拠 (指標などを踏まえた上で、効果(成果)の大きさを判断した根拠などを記入して下さい)			
サービス成果	A	近年の温暖化の影響による気温上昇を考えると、エアコン整備による社会成果は高いものと考えられる。			
社会成果	A	教育施策を充実させることは、シティプロモーションの面からも効果が高く、子育て世代の人口流入が期待できる。			
住民満足度	A	利用者は限定されるが、児童及び教職員、保護者の満足度は高いものと考えられる。			

1. 基礎情報

事業名	中学校エアコン整備事業				事業番号	2
事業区分	新規事業	マニフェスト番号	-	-	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
会計区分	一般会計	総合戦略番号			2	学校教育の充実
補助金等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( <input checked="" type="checkbox"/> 国 <input checked="" type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 無				2	学校教育
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他 ( )				取組No.	①12 学校設備を使いやすく、きれいで、明るく、快適なものにします。
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 名称 学校保健安全法(学校環境衛生基準)					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度(平成 年度) <input type="checkbox"/> 単年度繰返(平成 年度～継続) <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度平成 30 年度～平成 31 年度					

2. 事業の概要

現状・課題	エアコン設置状況(平成29年4月1日現在) 普通教室 2.5% 特別教室 26.6% 夏場における教室の室温は、学校環境衛生基準で定められている教室等の温度である「17℃以上28℃以下」を大きく超えているのが現状であり、適正な教室環境に改善する必要がある。			
目的・意図 (期待できる効果)	(当該事業を実施することによって何をめざすのか) 災害級とも言われた今夏の猛暑を受け、熱中症対策として、学校の教室環境を改善し、子どもたちの健康を守り、適正な室温のもと教育を受けられる環境を維持するため、来年の夏までにエアコンを整備する。			
事業の概要 (全体計画)	事業の対象	市内中学生、教職員 (対象数: 約3,500人 )		
	総事業費(平成30年度～平成31年度)	673,630千円 (ランニングコストは除く)		
各年度の概要	市内全中学校の普通教室及び特別教室にエアコンを整備する。			
	普通教室121室 特別教室 67室 ※エアコン減価償却耐用年数:13年			
事業費(千円)A	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	設計委託 10,584千円 【今回補正】 工事監理委託 16,797千円 整備工事 642,229千円 計 659,026千円	平成30年度から繰越 ランニングコスト(9/12月) ガス空調(4/8) 2,631千円 電気空調(4/8)5,443千円	県補助は事業完了の翌年度に交付 ランニングコスト ガス空調(4/8) 3,507千円 電気空調(4/8) 7,257千円	ランニングコスト ガス空調(4/8) 3,507千円 電気空調(4/8) 7,257千円
職員従事者数(人・年)B	0.6	0.2		
人件費C=B×6,700千円	4,020	1,340	0	0
概算コスト A+C	673,630	9,414	10,764	10,764

3. 事業実施に当たっての必要性・有効性等

(事業実施に当たって、具体的にどの程度市民ニーズがあるか、事業実施による効果や成果はどの程度か、事業費や職員従事者数等を踏まえて事業効率を図っているか、事業の先進性や独自性などシティブロモーションに寄与するかなど、また、過去に議会で一般質問や要望があった場合など特筆すべき内容を記入してください。)

近年の温暖化の影響から、教室にエアコンを設置する要望は非常に強い。特に今夏の猛暑を受け、市民・保護者からエアコン設置を求める要望が多数寄せられている。

4. その他特記事項

学校環境衛生基準では、教室の室温は「17℃以上28℃以下」が望ましいとされているが、夏場の最高気温が35℃を超えている現状では、エアコン稼働による室温コントロールが、適正な教育環境維持に必要であり、国・県も緊急対応であることに鑑み、臨時特例的な補助制度を創設し、適正な教室環境維持を目指しているところである。

事業名	中学校エアコン整備事業	担当課	教育総務課
-----	-------------	-----	-------

### 1. 事業コスト(フルコスト)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度
事業費(千円) A	669,610	8,074	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764
イニシャルコスト	669,610	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(初期投資)										
用地関係費										
建設工事費	642,229									
設計監理費	10,584									
システム開発費										
(監理費)	16,797									
ランニングコスト	0	8,074	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764
(施設等運営費)										
用地借上費										
修繕費										
維持管理費										
光熱水費		8,074	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764
システム保守費										
公債費利子										
( )										
財源内訳(千円) A	669,610	8,074	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764
国・県支出金	107,308		11,917							
起債	214,000									
その他特財	19,726									
一般財源	328,576	8,074	-1,153	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764
職員(人/年) B1	0.6	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時職員(人/年) B2										
人件費 B B1×6700千円+B2×1500千円	4,020	1,340	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給与引当金 C B1×6700千円×5%	201	67	0	0	0	0	0	0	0	0
フルコスト A+B+C	673,831	9,481	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764	10,764

### 2. 事業の効果(有効度指標)

事業の性質区分		<input checked="" type="checkbox"/> 量的施設事業	<input type="checkbox"/> 単一施設事業	<input type="checkbox"/> システム整備事業	
有効度指標名(単位)		30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値	33年度目標値
		34年度目標値	35年度目標値	36年度目標値	37年度目標値
サービス成果	整備校数 (校)		8		
社会成果	( )				
住民満足度	( )				
効果の期待度 (A. 大きな効果が期待できる B. ある程度の効果が期待できる C. さほど効果は大きくない)					
指標の種類	評価	判断の理由・根拠 (指標などを踏まえた上で、効果(成果)の大きさを判断した根拠などを記入して下さい)			
サービス成果	A	近年の温暖化の影響による気温上昇を考えると、エアコン整備による社会成果は高いものと考えられる。			
社会成果	A	教育施策を充実させることは、シティプロモーションの面からも効果が高く、子育て世代の人口流入が期待できる。			
住民満足度	A	利用者は限定されるが、生徒及び教職員、保護者の満足度は高いものと考えられる。			

担当課 こども課

### 1. 基礎情報

事業名	幼稚園エアコン整備事業				事業番号	3
事業区分	新規事業	マニフェスト番号	—	—	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
会計区分	一般会計	総合戦略番号			2	学校教育の充実
補助金等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( <input checked="" type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 無				1	幼稚園教育
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他 ( )				取組No.	②1 幼児の安全を確保するため、園舎の耐震化を進めるとともに、施設の安全点検を強化し、改善が必要な場合は早急に改修します。
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 名称 学校保健安全法(学校環境衛生基準)					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度(平成 年度) <input type="checkbox"/> 単年度繰返(平成 年度～継続) <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度平成 30 年度～平成 31 年度					

### 2. 事業の概要

現状・課題	エアコン設置状況(平成29年4月1日現在) 保育室 21.5%  夏場における保育室の室温は、学校環境衛生基準で定められている保育室等の温度である「17℃以上28℃以下」を大きく超えているのが現状であり、適正な保育環境に改善する必要がある。				
目的・意図 (期待できる効果)	(当該事業を実施することによって何をめざすのか) 災害級とも言われた今夏の猛暑を受け、熱中症対策として、幼稚園の保育室環境を改善し、子どもたちの健康を守り、適正な室温のもと教育を受けられる環境を維持するため、来年の夏までにエアコンを整備する。				
事業の概要 (全体計画)	事業の対象	市立幼稚園在園児、教職員 (対象数: 約1,000人 )			
	総事業費	(平成 30 年度 ～ 平成 31 年度) 134,431 千円 (ランニングコストは除く)			
<small>継続事業の場合は概要とともに変更点についても右欄に記入してください</small> 変更 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生駒南こども園を除く市内7幼稚園の保育室にエアコンを整備する。  保育室43室 ※エアコン減価償却耐用年数:13年				
	各年度の概要	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	設計委託	4,763千円	平成30年度から繰越	ランニングコスト	
	【今回補正】			ガス空調(6/7) 5,261千円	ランニングコスト
	工事監理委託	11,718千円	ランニングコスト(9/12月)	電気空調(1/7) 1,815千円	ガス空調(6/7) 5,261千円
	整備工事	117,950千円	ガス空調(6/7) 3,946千円		電気空調(1/7) 1,815千円
	計	129,668千円	電気空調(1/7) 1,362千円		
事業費(千円)A		134,431	5,308	7,076	7,076
国・県支出金		19,658			
起債		39,300			
その他特財		6,096			
一般財源		69,377	5,308	7,076	7,076
職員従事者数(人・年)B		0.3	0.1		
人件費C=B×6,700千円		2,010	670	0	0
概算コスト A+C		136,441	5,978	7,076	7,076

### 3. 事業実施に当たっての必要性・有効性等

<small>(事業実施に当たって、具体的にどの程度市民ニーズがあるか、事業実施による効果や成果はどの程度か、事業費や職員従事者数等を踏まえて事業効率を図っているか、事業の先進性や独自性などシティブロモーションに寄与するかなど、また、過去に議会で一般質問や要望があった場合など特筆すべき内容を記入してください。)</small>
近年の温暖化の影響から、教室にエアコンを設置する要望は非常に強い。特に今夏の猛暑を受け、市民・保護者からエアコン設置を求める要望が多数寄せられている。

### 4. その他特記事項

学校環境衛生基準では、教室の室温は「17℃以上28℃以下」が望ましいとされているが、夏場の最高気温が35℃を超えている現状では、エアコン稼働による室温コントロールが、適正な教育環境維持に必要であり、国も緊急対応であることに鑑み、臨時特例的な補助制度を創設し、適正な教室環境維持を目指しているところである。
--

事業名	幼稚園エアコン整備事業	担当課	こども課
-----	-------------	-----	------

### 1. 事業コスト(フルコスト)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度
事業費(千円) A	134,431	5,308	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076
イニシャルコスト	134,431	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(初期投資)										
用地関係費										
建設工事費	117,950									
設計監理費	4,763									
システム開発費										
(監理費)	11,718									
ランニングコスト	0	5,308	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076
(施設等運営費)										
用地借上費										
修繕費										
維持管理費										
光熱水費		5,308	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076
システム保守費										
公債費利子										
( )										
財源内訳(千円) A	134,431	5,308	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076
国・県支出金	19,658									
起債	39,300									
その他特財	6,096									
一般財源	69,377	5,308	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076
職員(人/年) B1	0.3	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時職員(人/年) B2										
人件費 B B1×6700千円+B2×1500千円	2,010	670	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給与引当金 C B1×6700千円×5%	101	34	0	0	0	0	0	0	0	0
フルコスト A+B+C	136,542	6,012	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076

### 2. 事業の効果(有効度指標)

事業の性質区分		<input checked="" type="checkbox"/> 量的施設事業	<input type="checkbox"/> 単一施設事業	<input type="checkbox"/> システム整備事業	
有効度指標名(単位)		30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値	33年度目標値
		34年度目標値	35年度目標値	36年度目標値	37年度目標値
サービス成果	整備園数 (園)		7		
社会成果	( )				
住民満足度	( )				
効果の期待度 (A. 大きな効果が期待できる B. ある程度の効果が期待できる C. さほど効果は大きくない)					
指標の種類	評価	判断の理由・根拠 (指標などを踏まえた上で、効果(成果)の大きさを判断した根拠などを記入して下さい)			
サービス成果	A	近年の温暖化の影響による気温上昇を考えると、エアコン整備による社会成果は高いものと考えられる。			
社会成果	A	教育施策を充実させることは、シティプロモーションの面からも効果が高く、子育て世代の人口流入が期待できる。			
住民満足度	A	利用者は限定されるが、園児及び教職員、保護者の満足度は高いものと考えられる。			

(別紙) 他の政策との比較検討

○ 中学校 8 校 (生駒北小中学校を含む) で試算

〔イニシャルコストは経費・消費税を除いた直接工事費、ランニングコストは 13 年間使用 (単位: 千円)〕

下段 ( ) 内は 1 校当たりの平均

(1) 全中学校が電気空調の場合

	学校数	イニシャル	ランニング	トータル
電気	8	338,624	186,901	525,525
		(42,328)	(23,363)	(65,691)

(2) 全中学校がガス空調の場合

	学校数	イニシャル	ランニング	トータル
都市ガス	4	178,451	45,591	224,042
		(44,613)	(11,398)	(56,011)
LPガス	3	146,918	63,193	210,111
		(48,973)	(21,064)	(70,037)
電気※	1	32,604	19,370	51,974
計	8	357,973	128,154	486,127
		(44,747)	(16,019)	(60,766)

※鹿ノ台中学校については、国のスーパーエコスクール実証事業モデル校のため電気空調を採用。

(3) 電気空調・ガス空調の併用の場合

	学校数	イニシャル	ランニング	トータル
電気	4	164,284	94,341	258,625
		(41,071)	(23,585)	(64,656)
都市ガス	4	178,451	45,591	224,042
		(44,613)	(11,398)	(56,011)
計	8	342,735	139,932	482,667
		(42,842)	(17,492)	(60,333)

○ 上記の比較検討の結果、(3)の併用方式を採用